

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



高見島分教会

大正14年5月27日 設立
平成8年12月26日 移転・改称
平成9年2月2日 鎮座奉告祭

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。
つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



立教186年
4月号

春の合同練習会

開催
むつみ
鼓笛隊

笠岡むつみ鼓笛隊は、3月31日、大

教会で「春の合同練習会」を開催した。
コロナ禍のため3年振りの開催となつた今回は、本隊・福山・高屋から、スタッフ21人・隊員27人、計48人が参加した。

隊員らは、ファイフ・ドラム・鍵盤・ポンポンなどの各パートに分かれ、子どもおちばがえりのテーマソング『ありがとう 夏のおちば』の練習に励んだ。

久しぶりに鼓笛に参加した隊員もあり、鼓笛活動への気運が高まつた春となつた。尚、翌4月1日に開催された「少年会おつとめまなび総会」で、鼓笛お供演奏を行った。



初めてのファイフに挑戦



細かなリズムまで確認



お供演奏に向け合奏練習



曲に合わせてポンポン練習



おつとめまなび総会で成果を発表

おつとめまなび総会

開催

少年会

少年会笠岡団(団長・森本忠善)は、

4月1日に本年度のおつとめまなび総会を開催しました。心配をしていた天候も、好天のご守護を頂く中、少年会員132人、育成会員138人、総数270人の参加を頂いて、にぎやかにつとめさせて

頂きました。
育成会長様(大教会会長様の御臨席を頂いて、午前10時より、座りづとめ・よろづよ八首を鳴り物を入れて参加者全員でつとめさせて頂きました。

おつとめまなび後、総会式典では、育成会長様より、「おやさまの御言葉」やさしい心になりなされや」を、分りやすくお話し下され、参加者に向けて、やさしい心で人のたすかりを願うおつ



各ブロック代表が鳴物を勤めた



真剣なおつとめの姿



心を合わせて弾く



新たに隊長規則が作られた



謎解きクイズラリーを開催

とめを、これからもつとめてほしいとご挨拶を終えられました。全員により「少年会の誓い」を力強く唱和した後、各教会の隊長に新しくつくられた隊長バッチを団長より渡され、隊長としての役目として新しい隊長規則「三つの約束」を率先して、隊員達を、引っばってほしいと約束されました。

続いて、「わかぎ門出式」が行われ、今春、中学を卒業した18人の少年会員に記念品を贈呈、団長より、少年会の卒業生として、これからは、少年会員を導いて行ってほしい。そして、17歳になったら別席を運んで、おさづけを取り次げられるようぼくになってほしいと、お祝いの言葉を贈られました。

最後に、鼓笛の御演奏が行われ、下は未就学から、上は中学3年生までの隊員が一生懸命に演奏演技する姿は、いつ見ても感動を与えて頂き、会場からの大きな拍手が贈られました。お楽しみ行事では、クイズラリーが行われ、大教会長様には、「名探偵アツキー」役としてご参加頂き、子供達を盛り上げて下さいました。続いて、恒例の抽選会が行われ、楽しいひとときを過ごしました。

昼食は、3年ぶりに、模擬店が復活、大いに盛り上がり喜びの中におつとめまなび総会を、無事終えさせて頂く事ができました。この日を迎えるに当たり、それぞれの教会では、おつとめ練習、また、模擬店等、おつとめまなび総会開催に当たりお世話取り下さいました方々、お忙しい中ひのきしんして下さいました方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

(副団長 浅野明教)

笠岡学生会として
初の春学参加
学担



満開の桜の下で

笠岡学生担当委員会は、3月28日に親里で開催された、「春の学生おぢばがえり」に笠岡学生会として初めて参加した。
『感謝』をテーマに3月27・28日で組まれた団体には、学生32人・スタッフ11人、計43人が参加。初日は、班毎に親睦を深めるグループタイムや、神殿参拝、親里の桜見物などのプログラム



ありがとうを付箋に書き出す

が組まれた。また、夜には、『ありがとうを探してみよう』をテーマに、上原志郎先生の体験談を聴き、学生一人ひとりが、身近にある『感謝』について語り、考えを深めた。
翌28日、快晴の下、本部中庭で式典が行われた。真柱様のメッセージ、学生の代表による体験談などを通して、参加者は道に繋がる学生としての自覚を高めた。



笑顔が絶えない直属アワー

リンピックが催され、大いに盛り上がった。
学生らは、1泊2日を通して、信仰の喜びを見聞きし、様々な事を語り合い、同じ笠岡に繋がる学生同士の親睦や絆を深めた。
芳井分教会 上村 ちはや
私は最初、春学の参加に乗り気ではなかったけど、春学に参加して、毎日

春学に参加して



新調した旗を先頭に式典へ

健康で不自由なく生活できるのは当たり前ではないと言うことを知ることができました。
また、春学で楽しかったことは、直属アワーです。みんな、楽しそうに盛り上がっていました。初対面の人や、あまり話したことがない人もたくさんいたけど、直属アワーで自然と距離を縮めることができました。
色々な人と意見を交わしたり、天理教について学ぶ機会になった春学に参加してよかったです。

第4回「桜まつり」
支援バザー開催
海外部

令和5年4月8日(土)、笠岡大教会海外部(部長・上原志郎)は第4回「桜まつり」支援バザーを4年ぶりに開催しました。今回は従来のアフリカ孤児支援に加えて、戦時下のウクライナ、地震で被災したトルコの人たちへも支援の輪を広げようということになりました。

午前10時、大教会の女性有志による



多くの人達で賑わったバザー会場

和太鼓チームの演奏でスタート。衣類や電化製品、家具、台所用品など、皆様が提供していただいたバザーの商品々が格安で販売されました。途中、笠岡むつみ鼓笛隊の演奏や豪華景品の当たる2回の福引、また様々な模擬店も出店され、当日は、地元の方々を含め約300人が来場してくださいました。

このイベントは、海外部員だけではとても出来るものではなく、準備の段階も含めて100人を超える多くのひのきしんをしてくださる方々の協力があったこそ成り立つ行事です。この場をお



国際色豊かな模擬店に舌鼓

借りして御礼申し上げます。教内の人を対象にした行事がほとんどの中、地域の方々の巻き込んだ行事ができたこと、天理教の活動の一部を知ってもらえたこと、また多くの支援金が集まったことを部員一同感謝いたしております。

尚、当日の模擬店店舗は以下の通りです。うどん・カレーライス・焼きそば・アフリカンフード・韓国トッポギ・フルーツボックス・炊き込みご飯(道竹)・やきとり・巻き寿司・とうふ・馬油・アフリカ民芸品・コーヒー・ジュース・スイーツ・冷凍食品(フードロス協力)・ハンドマツサージ・笠岡市危機管理課・城見地区自主防災会。

(部員 吉岡 誠一郎)



WBC侍ジャパンの世界一奪還は本当にすごかった。濃密なドラマは最初から最後まで目が離せなかった。野球の試合のおもしろさは当然のことであるが、選手一人々々の人間模様と、目には見えない運の力のすごさを見せて

もらったように思う。中でも、村上敢えて呼び捨てにさせてもらう。最初から不調だった村上宗隆がメキシコとの準決勝で、最終回に打席が巡って来て、そこで劇的な逆転サヨナラ打を打った時には、涙が出そうになった(たぶん2〜3滴出た)。又誰もが思ったであろうが、決勝のアメリカ戦! 大谷翔平とマイク・トラウトの最終回2アウトの対決は、偶然とは思えない最高のシチュエーションだった。大げさかもしれないが、あの場面に日本中が、いや世界中が一つになれた様な気がする。野球の神様のシナリオとしか思えない。

でもそれを引き出したのは、侍ジャパンをまとめた栗山監督の野球に対する情熱だと思う。選手を信じる采配は勿論、野球の素晴らしさを次の世代にいかにつまびらかに伝えていくかを最大の意義としていた。やはり、神様のシナリオを引き出すのは、長たる者の人間力だろうか。考えさせられるものがある。

今回のWBCの最強選手達は、最強のたすけ合い軍団かも知れない。誰かがだめでも誰かがカバーして……。テレビ画面の中のそんな光景が私の心を動かしてくれた。

(は)

三月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます
親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい 一条の親心から陽気ぐらしができるように天然自然の御守護を下さり 日々は結構にお連れ通り下さいます事は 誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は肌に触れる空気の温かさに春の訪れを感じつつ 日々は朝夕に御礼申し上げ 思報じを思い念じてたすけ 一条の御用の上に努め励まして頂いております

その中にも今日の吉日はこの教会の三月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び心たすけ心も一人に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には春の訪れに心を躍らせ 今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供たちが 相共にお歌を唱和し 日頃の御高思に改めて御礼申し上げます 尚も変わらぬ親心にお縋りする皆の誠真実の状態をご覧下さいます 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今月はおちばにて 学生を対象とした学生生徒修養会大学の部 高校卒業生コースなど 様々な行事が開催されました また二十八日には春の学生おちばがえりが開催されます この度は笠岡として初めて団体を組んでこの春の学生おちばがえりに参加させて頂きます 笠岡に繋がる次代を担うよう ぼくに育ってもらえるように しつかりとまず我々がおちばに心を寄せさせて頂きたいと思えます

また笠岡では一月に直轄教会へ二月三月に部内教会へと一斉巡教を行い 諭達の精神と年祭活動の意義の周知徹底を図りました 立教百八十九年の教祖百四十年祭に向かって 一手一つに心を揃えて成人の歩みを進めさせて頂く所存でございます

何卒親神様には 親を信じ親に凭れてたすけ 一条に励む皆の誠真実の心をお受取り下さいまして 万たすけの上に親心一杯の自由の御守護を賜り 望み下さる陽気ぐらしへとお導き下さいますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十六年 三月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぼん	笛	おつとめ てをどり	役割 区分			講話	祭主		指図方	賛者				
										地方	坐り勤	前半		後半	武内清明		上原浩	門脇元教	内海史郎		
今川佐智子	上原順子	佐藤香苗	岡崎真一	吉岡壽	内海史郎	中村剛	谷内伸自	浅野明教	田中ますみ	前奥様	大教会奥様	上原繁道	前会長様	大会会長様	山田敏教	高木昭祥	上原志郎	吉岡誠一郎	佐藤道孝	五月講話	縦の伝道講習会
岡崎豊子	横山小智榮	門脇加津	上原繁次	内海史郎	佐藤真孝	田林久嗣	中島誠治	山野弘実	岡崎和美	中村初美	谷内美知子	横山逸郎	三島渉	田中隆之	高木昭祥	上原浩	佐藤道孝	岡崎真一	指図方	門脇元教	内海史郎
田中つかさ	上原千枝子	内海安子	武内清明	岡崎治喜	岡田誠	赤木素志	杉原善朗	今川昌彦	山野なつ	吉岡八恵	武内正美	虫村道徳	中村立生	門脇元教	渡邊隆夫	森本忠善	岡崎真一	岡崎真一	指図方	門脇元教	内海史郎

春季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自せい子刀自の神霊 歴代会長と共に道の上に真実を尽くされた役員 部内教会長 教人 よふぼく信者の神霊 またこの度新たににお鎮まりいただきました四十九名の方々の神霊 諸々の神霊の前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます 祖霊様方には 親神様教祖にこの道に引き寄せられ 陽気ぐらし世界建設のよふぼくとして息の限りにたすけ 一条の御用の上に勤め切られました 加えて「ひながた通らねばひながたいらん」とのお言葉通り 艱難苦勞の道を勇んで歩んで下さいました 今日お道が結構な姿をお見せ頂いておりますのはひとえに親神様教祖のご守護お導きの賜物である事は申すまでもありませんが また一つには祖霊様方の真実の伏せ込み作り賜物と 日々は朝夕にお礼申し上げると共に 親々の意志を受け継ぎ 届かぬながらもたすけ 一条の御用の上に努め励ませて頂いております

その中にも本日は 春の霊祭を執り行う日柄でございますので 御前に海川山野心づくしの種々の物を供えて 只今はおつとめ奉仕人一同 親神様の御前にててをどりをつとめさせていただきました 続いて祖霊様方の御前に座を移し在りし日を偲び御遺徳を称えお礼申し上げる皆の真実の姿をご覧下さいまして 祖霊様方にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

今私共は教祖百四十年祭に向かって 「つなごろう、おやさまのお心に。つなげよう、信仰の喜びを。」の活動方針の元 「ひながたを学び、そのお心を実践しよう。」を目標として それそれにひながたを實踐することで成人の歩みを進めさせて頂いております

何卒祖霊様方には 成人の旬と聞かせて頂くこの時に 精一杯に成人の道を歩む皆の真実の状をご覧下さいまして より一層この道が延び広がりますようお力添えの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十六年 春季霊祭 祭典役割表

祭主	大教会長様
扨者	今川昌彦 吉岡誠一郎

賛者	浅野明教
指図方	佐藤真孝 田中隆之

役割	区分	地方		おつとめてをどり																
		前	後	門脇加津	大教会奥様	上原志郎	門脇元教	大教会長様	岡崎治喜	山野弘実	前会長様	浅野明教	上原浩	中村道徳	杉原善朗	虫明立生	岡崎真一	笹尾一美	三島照美	高木孝子
	前半			門脇加津	大教会奥様	上原志郎	門脇元教	大教会長様	岡崎治喜	山野弘実	前会長様	浅野明教	上原浩	中村道徳	杉原善朗	虫明立生	岡崎真一	笹尾一美	三島照美	高木孝子
	後半			村川久美子	藤本恵子	武内正美	掛谷宣和	北川治史	岡崎治喜	丸山正人	三代信行	上原繁次	岡本善一	瀬藤友昭	竹本和道	下田誠輝	田中亜輝	森本富美子	田中つかさ	室悦子

詰所からのお願い

詰所での宿泊・喫食について

- 詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、2日前までには、必ず詰所へご連絡ください。
- 食事をしない(宿泊のみの)場合でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。部内教会・信者に徹底願います。

教祖百四十年祭
笠岡大教会活動方針



つながろう、

おやさまのお心に。

つなげよう、

信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、
そのお心を実践しよう。



KASAOKA
ひながた通信